

ベルマークを通じた被災地支援 ～今回は熊本の小学校へお届け～



2016年度
ベルマーク寄贈レポート

ファミリーマートでは2008年4月1日より、おむすびにベルマークをつけて販売しています。
また、店頭のおむすび売場設置のベルマーク回収BOXへお寄せいただいたベルマークは、店舗近隣の小学校や被災地の小学校へ寄贈を行っています。



ベルマークを通じた被災地支援

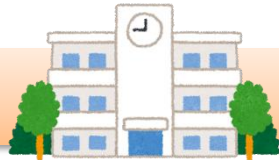


集まったベルマーク

ファミリーマートでは被災地支援として、ファミリーマート店舗と食品製造委託工場、および池袋本社回収活動で集まったベルマークを東日本大震災で甚大な被害を受けた被災地の学校へ寄贈してきました。
この活動は2011年度より実施しており、被災地のこどもたちへの育成支援として毎年継続して行っています。
今回は平成28年熊本地震によって被害を受けた熊本県の学校へ寄贈を行いました。

Report 1

7月26日
熊本県合志市立南ヶ丘小学校へお届けしました



■ 学校DATE

学校名： 熊本県合志市立南ヶ丘小学校
校長： 二殿 一身 先生
生徒数： 688人
校訓： 心をみがき・体をきたえ・夢を大きく

■ 震災の影響について

- ・震災直後は約700名の近隣住民の皆さんが学校へ避難。水・電気が止まらなかった為、多くの方々の避難者場所となった。
- ・合志市の取り決めで、4月19日にて校内解放を終了し、通常状態に回復。
- ・校内はヒビが入る程度で、大きな倒壊は無かった。



南ヶ丘小学校長 二殿 一身先生 (右) とファミリーマート熊本北営業所長 堤 博信 (左)

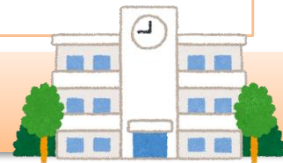
Voice

南ヶ丘小学校長 二殿 一身先生

コンビニエンスストアでベルマーク運動に参加されている事に驚きました。
ベルマークの寄贈は非常に有り難く、PTAの皆さんと話し合い、大切に活用させていただきます。
ベルマークをお寄せいただき、ありがとうございました。

ファミリーマート熊本北営業所長 堤 博信

震災の影響で終業式を一週間遅らせており、寄贈を行った7月26日も校内は通常の授業中でした。
合志市は被害の大きかった益城町や阿蘇市からは離れていますが、熊本県内でも大型の新興住宅街である為、若い家族連れが多く、こどもも多い地域です。
実際の被害よりも、心のダメージがクローズアップされてきており、こどもたちに向けた震災対応は非常に良い事だと感じました。



Report 2

7月27日

熊本県熊本市立尾ノ上小学校へお届けしました

■ 学校DATE

学校名： 熊本県熊本市立尾ノ上小学校
校長： 長尾 秀樹 先生
生徒数： 760人
特徴： 「学ぶ」「きたえる」「助け合う」

～「笑顔いっぱい、夢いっぱい、愛いっぱい」の
学校づくりを目指して～

■ 震災の影響について

- 被害の大きかった益城町の隣に位置する為、学校周辺でも建物倒壊や道路隆起が発生したが、幸い学校自体は建物にヒビが入る程度で大きな被害はなかった。
- 避難者も多く、5月末まで被災された方々が学校内に避難していた。
- 震災後に県外の親戚等を頼り転校する生徒もいた。



尾ノ上小学校長 長尾 秀樹先生 (左) とファミリーマート熊本南営業所長 山本 修司 (右)

Voice

尾ノ上小学校長 長尾 秀樹先生

本校は、熊本県内でもベルマークの取り組みが盛んな学校で、卒業した後もベルマーク回収に協力する地域の方が多くいらっしゃいます。

今回の寄贈を受け、大変嬉しく思っております。本当にありがとうございました。

寄贈いただいたベルマークはPTAと話し合い、活用方法を決めていきます。

今後もベルマーク運動に取り組んでまいります。

ファミリーマート熊本南営業所長 山本 修司

町中を歩くと半壊の建物があり、熊本県内でも被害が出た地区にある尾ノ上小学校へ寄贈させていただきました。

学校自体の被害はなかったものの、ベルマークを通じてこどもたちへ支援を実施できたことに意義があると感じています。

ファミリーマートは、事業活動を通じて常にお客さま、地域社会、そして地球を幸せにする存在となることを目指します。